

第 27 回 大腸癌プロジェクト研究「大腸癌腹膜播種の Grading」議事録

研究代表者 小林宏寿 (帝京大学医学部附属溝口病院外科)

日時 第 101 回大腸癌研究会・2024 年 7 月 11 日 (木) 14:30~15:30

場所 名古屋コンベンションホール 4F 408

参加者 前田, 佐藤 (藤田), 番場 (女子医), 梶原, 田代 (防衛), 小森 (愛知がん), 江本 (東大), 小山 (奈良), 松山, 白石 (埼玉医大医療セ), 川崎 (ベルランド), 山内, 山本 (医科歯科), 問山 (三重), 船橋, 鏡, 牛込 (東邦大森), 森川 (福井), 諸橋 (弘前), 須藤, 深瀬 (山形中央), 小澤 (栃木がん), 能浦 (堺市立), 清松 (国際医療セ), 藤田 (久留米), 吉敷 (杏林), 島田, 中野 (新潟), 肥田, 星野, 後藤 (京大), 幸田, 小杉, 碓井 (帝京ちば), 志田 (東大医科研), 中山 (名古屋), 富田 (市立豊中), 木村 (兵庫医大) 小林 (帝京溝口).

順不同・敬称略

議題 1 前回会議議事録案の承認

- ・前回議事録が承認された.

議題 2 腹膜播種の prospective study (観察研究) の進捗状況

- ・発表・論文化について

予後情報なし

1) ベルランド (登録数 1 位) : PCI と日本の大腸癌腹膜播種分類ならびに原発巣占拠部位との相関

→Kawasaki M et al. J Anus Rectum Colon4(4);157-164, 2020

2) 国がん (登録数 2 位) : R0 切除を行い得る症例はどのような症例か

→Shida D et al. Int J Clin Oncol 25(2); 330-337, 2020

予後情報あり

3) 事務局 : PCI と日本の播種分類との予後分別能 (新しい分類と Grading の提示) →Ann Gastroenterol Surg 7(5);765-771, 2023

4) 防衛医大 (登録数 4 位) : 大腸癌腹膜播種症例の予後予測における腫瘍マーカーの有用性

5) 藤田医科 (登録数第 5 位) : 化学療法と播種症例の予後

6) 東京女子医大 (登録数第 7 位) : 大腸癌腹膜播種の機械学習を用いた予後予測

7) 東邦大学大森 (登録数第 7 位) : 原発巣を切除した大腸癌腹膜播種症例における予後因子解析

- 8) 栃木がん (登録数第 7 位) : 腹膜播種に対する手術と術後合併症の関係
 - 9) 奈良県立医 (登録数第 7 位) : 大腸癌腹膜転移における Glasgow Prognostic Score (GPS) のインパクト
 - 10) 埼玉医大総合医セ (登録数第 12 位) : 腹膜播種 CurB 症例の再発形式と予後因子
 - 11) 東京大学 (登録数第 13 位) : 播種の局在と PCI, 予後の関連
- 4) 6) 7) 8) 9) 10) について各施設より進捗状況が発表された。

新しい腹膜播種分類については、前回の voting にて大きさを含めた分類を支持する施設が 7 割であった。3 割の施設は現状のものに客観性をもたせた、より簡便な分類を支持した。以上の結果を踏まえ、大きさを含めた分類、大きさを含めない分類を規約改訂委員会に上申した。規約改訂委員会では大きさを含めない簡便な方が良いのではないかとの意見が複数あった。次回規約改訂委員会までに規約への反映の仕方を再度提案することとなった。

議題 3 腹腔洗浄細胞診の prospective study (観察研究) について

論文化の状況については以下の通り。

予後情報なし

- 1) 藤田医科 (登録 1 位) : 腹腔洗浄細胞診陽性に関連する因子の検討
→J Anus Rectum Colon. 2021 Oct 28;5(4):355-365.

予後情報あり

- 2) 事務局 : 細胞診の結果と再発・予後の検討 →AGSurg 投稿→受理
- 3) ベルランド (登録 3 位) : 陰性→陽性に転じた症例に相関する因子の検討
- 4) 愛知がんセンター (登録 5 位) : 施設別細胞診陽性率の差に関する検討
- 5) 防衛医大 (登録 4 位) : 腹膜播種再発の予測モデルに関する解析
(Nomogram もしくは Classification And Regression Tree を用いて)
- 6) 栃木県立がんセンター (登録 6 位) : pStage III 大腸癌におけるリンパ節転移個数と洗浄細胞診の関係
- 7) 帝京大学ちば総合医療センター (登録 7 位) : 細胞診陽性症例
Sideness による予後, 再発治療の検討

3) 4) 5) 6) 7) について各施設から進捗状況が報告された。

次期規約における細胞診の記載について、次回の規約改訂委員会へ提言することとなった。

(文責 : 小林宏寿)